



平成28年5月26日
九州地方整備局

平成28年度 都市景観大賞 『大賞』 受賞

西鉄柳川駅周辺に於ける市民・事業者・行政・専門家による景観まちづくりの取り組み

今般、全国各地からの応募の中から、都市景観大賞が選定され、九州から「西鉄柳川駅周辺に於ける市民・事業者・行政・専門家による景観まちづくりの取り組み」が、大賞を受賞することとなりました。また、大賞の他に1件が優秀賞を受賞することとなりましたので、お知らせします。

『大賞』 景観まちづくり活動・教育部門

活動名：西鉄柳川駅周辺に於ける市民・事業者・行政・専門家による
景観まちづくりの取り組み

活動エリア：福岡県柳川市 西鉄柳川駅周辺地区

受賞者：柳川市、西日本鉄道株式会社、西鉄柳川駅周辺地区デザイン
検討会議、柳川市立藤吉小学校 育友会 父親委員会

『優秀賞』 都市空間部門

地区名：警固公園周辺地区

所在地：福岡県福岡市

受賞者：福岡市、福岡大学工学部景観まちづくり研究室
アーバンデザインコンサルタント、警固公園対策会議

《都市景観大賞》

都市景観大賞は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。景観に関する優れた地区・活動に対し「大賞」、「優秀賞」、「特別賞」を授与し、更なる取組の契機としていただくとともに、良好な景観の形成が推進されることを目的に、全国に広く紹介しています。

【問い合わせ先】

九州地方整備局 TEL 092-471-6331 (代表)
建政部 都市調整官 島峯 (内線6113)
建政部 計画管理課 課長 久世 (内線6121)

「大賞」(国土交通大臣賞)

- 活動名 : 西鉄柳川駅周辺に於ける市民・事業者・行政・専門家による景観まちづくりの取り組み
- 活動範囲 : 福岡県柳川市(西鉄柳川駅周辺地区)
- 応募者 : 柳川市、西日本鉄道株式会社、西鉄柳川駅周辺地区デザイン検討会議、柳川市立藤吉小学校 育友会 父親委員会

■活動の概要 :

柳川市は、景観計画に基づき市民自らがまちや暮らしの価値感を高め、景観づくり活動を上げていくことに取り組んでいる。景観重要地区・西鉄柳川駅周辺においては、水都柳川の玄関口に相応しい公共空間(駅前広場、自由通路、駅舎)整備を核としつつ、市民・事業者・行政・専門家の協働によって、単なる通過点だった駅前空間を市民と来訪者の交流にぎわい空間へと再生した。

駅前空間整備においては、市民ニーズ等を反映し、かつ質が高く一体的なデザインを実現するプロセスを大切に計画～設計～施工～整備後まで一貫した「市民ワークショップ」を開催し、多様な市民の参画機会を促進した。

また、「市民ワークショップ」からは、柳川らしいデザインや暮らし方を再認識する活動や地元小学校の親子による「モノづくりワークショップ」開催等の取り組みが派生した。製作された杉ベンチ・フェンス等は駅前空間に設置され、イベント等に利活用されている。

そして本プロジェクトに参画した市民が主体となり、駅前利活用や活性化へ向けた新たな景観まちづくりの取り組みが生まれている。



藤吉小学校父親委員会と地元美容専門学校学生が連携し、駅前広場でハロウィンイベントを開催。

■審査講評 :

駅を含む整備には鉄道会社をはじめ多くの主体が絡むため、そのマネジメントだけでも大変な困難を伴う。検討組織を作り上げた上で市民との協働をこれだけ充実させたことについて、関係者の皆さんに敬意を表したい。

特にこれまでまちづくりに関わっていなかった若手や子供たちに参加の輪を広げたことは、担い手が固定しがちな市民参加において特筆すべきことである。利活用市民ワークショップは多くの市民を巻き込んできめ細やかに発展・展開し、プロのデザイナーと市民の協働によりクオリティの高さと手作り感が共存した空間が実現している。現地審査でお会いした方全員の顔にプロジェクトに対する自信と誇りが満ちあふれており、このプロジェクトが人の心に与えた効果を如実に現していた。

本プロジェクトの実施によって、まちの構造・空間の問題が解決されたのみならず、地域を担う人材のネットワークが新たに形成されている。これまで地域に関わるのが少なかった父親の役割や存在感が増し、子供たちがそこに関わることで、次世代の種もまかれている。これは景観まちづくりがめざす理想型のひとつであるといえよう。駅前利活用など次の取り組みも始まっているという。今後の息の長い活動と展開を期待したい。(福井)

「優秀賞」((公財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

■地区名：警固公園周辺地区

■面積：約 1.1 ha

■所在地：福岡県福岡市

■応募者：福岡市、福岡大学工学部景観まちづくり研究室、アーバンデザインコンサルタント、警固公園対策会議

■地区の概要：

福岡市中央区の警固公園はかつて園内の死角の多さから、若い女性を狙った性犯罪や夜間の騒音被害等が相次ぎ、犯罪の防止と迷惑行為の抑制が急務の課題となっていた。これを受け、同公園の再整備事業が実施され、平成24年12月にリニューアルオープンした。

本事業ではデザインコンセプトを「防犯と景観の両立」とし、単に見通しを良くする防犯対策にのみならず、周囲の景観や賑わいを考慮したデザイン提案がなされた。デザインプロセス上の仕組みとして、福岡県警、福岡市役所、地区住民等が一堂に会する「警固公園対策会議」が平成22年に発足、公園の治安対策に関わる現状や再整備の方針について協議・報告等がなされた。更に実施設計にあたっては、アドバイザーである福岡大学工学部景観まちづくり研究室によるヒアリング調査や利用行動調査等が実施され、デザイン提案に反映される等、官民連携による景観整備を実施した。

その結果、治安改善とともに人通りの増加、園内における利用者動線の広がり等が確認された。また再整備から1年後、隣接する商業ビルが公園の眺望を活かした外壁改修を実施し、以前からあったカフェに加え、ソラリア・プラザ内の他の珈琲店も公園側に移転、「警固公園が一望できるカフェ」として売り上げを向上させている。同じく隣接した警固神社の参拝客も増加するなど、警固公園の再整備による周囲への波及効果が確認された。

■審査講評：

「警固公園周辺地区」の取組は、「再整備」「地域再生」という都市景観賞における新たな評価軸を切り拓くものである。1951年に開設されたこの公園は、「公園内の見通しと動線を確保し防犯効果を向上し、周囲に広がる街の景観とにぎわいを公園の魅力として取り込む」ことを目的とし、従前の池や展望台を撤去し、生まれ変わった。福岡市・中央区・天神・大名地区住民・福岡大学で構成された「警固公園対策会議」の連携協力の賜物であるが、その効果を倍増させたのが、隣接する商業ビル（ソラリア・プラザ）の外壁のガラス化である。公園に背を向けていた施設が公園に開かれたことで空間の価値を高め、収益にも寄与するという立証したことは大きな成果である。

負の資産となっていた公園が、世代を超えた市民の憩いの場として生まれ変わり、「地域の資産価値を高める」という公園本来の力を牽きだし、地域活性化につながった事例として波及効果が高い。

既存の樹木を残しつつ、十分な動線・実態調査に基づいて設計された芝生広場で多くの市民がゆったりと過ごす様子は、公園再生のあり方を示すものであり、優秀賞にふさわしいと評価された。（池邊）



公園の再整備を機にリニューアルオープンしたソラリアプラザ・カフェからの眺め。死角を形成し、性犯罪等の発生から立入禁止となっていた築山を撤去、中央園路を新設して園内外の視線交錯と動線促進を図った。



公園南側からみた新公園の様子。より広がった中央広場では市民や企業によるイベントが多数行われ、再配置した改修以前からの自然石ベンチならびに新設したみはらしの丘等、利用者の増加に繋がった。



演出照明の組み込まれたベンチ、築山撤去によって見えるようになった警固神社通りの歩行者とレソラビル、リニューアルオープンしたソラリアプラザのファサードが園内の夜景を彩る。



改修前は人通りがほとんど無かった南側通路の現在の様子。老朽化とともに死角を形成し犯罪の温床となっていたトイレを移設。通路自体の線形も直線化し、加えて二重の柵が張られていた警固神社との境界部を改修した。

都市景観大賞について

1. 目的

平成17年6月1日、景観に関する我が国初めての総合的な法律である「景観法」が全面施行されました。現在、多くの地方公共団体において、同法の制度活用による良好な景観形成に向けた取組が進められております。

同法では、基本理念において、良好な景観が現在及び将来における国民共通の資産であること、その形成は、地域の自然、歴史、文化等の人々との生活等との調和を踏まえつつ、地域の個性及び特色の伸長に資するものとして多様な形成が図られるよう、住民、事業者及び地方公共団体の協働により進められなければならないことが示されています。

国土交通省においては、これらの取組を積極的に支援するため、同法の運用についての技術的助言や、良好な景観形成の動きを国民運動として全国展開していくための普及啓発活動等を推進していくこととしているところです。

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度であり、平成23年度からは、公共的空間と建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、市民に十分に活用されている地区を対象にした【都市空間部門】と、昨年度、景観法10周年を記念して実施した市民が主役の景観づくり活動等、景観法や景観に関連する制度を活用し優れた取組を行っている団体を対象とする「景観づくり活動部門」と、従来の小中学校における景観まちづくり教育、まち歩き、景観に関するセミナーなど、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等に取り組んでいる活動を対象にした「景観教育・普及啓発部門」を本年度から統合し、新たに【景観まちづくり活動・教育部門】の2つの部門で実施しております。

本制度により、景観に関する優れた地区・活動に対し、「大賞」（国土交通大臣賞）、「優秀賞」、「特別賞」を授与し、さらなる取組の契機としていただくとともに、全国に広く紹介することにより、良好な景観の形成が進んでいくことを目指しています。

2. 審査結果

本年度は、全国各地からの応募の中から、別表にあるとおり、【都市空間部門】は、「大賞」5地区、「優秀賞」1地区、「特別賞」1地区、【景観まちづくり活動・教育部門】は、「大賞」3件、「優秀賞」6件が選定されました。

別表1 平成28年度都市景観大賞受賞地区及び団体の一覧（全国分）

別表2 九州における過去の受賞履歴

3. 表彰式

「まちづくりと景観を考える全国大会」において行われます。

日時 平成28年6月10日（金） 13：30～

場所 東京都文京区 住宅金融支援機構本店1F 「すまい・るホール」

「都市空間部門」受賞地区一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

応募件数：12件

地区名	地区面積	応募者
こしがや 越谷レイクタウン地区 (埼玉県越谷市)	約 225.6 ha	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県 越谷県土整備事務所 越谷市 一般社団法人 越谷市観光協会 独立行政法人 都市再生機構 首都圏ニュータウン本部
しんかわせんほんざくらえんせん 新川千本桜沿川地区 (東京都江戸川区)	約 39.0 ha	<ul style="list-style-type: none"> しんかわせんほんざくら 新川千本桜の会 江戸川区
きゅうちょうふふじみちようじゅうたく 旧調布富士見町住宅地区 (東京都調布市)	約 1.6 ha	<ul style="list-style-type: none"> 調布富士見町住宅マンション建替組合 調布市 株式会社 NEXT ARCHITECT&ASSOCIATES
きゅうとうかいどうふたがわしゆく 旧東海道二川宿地区 (愛知県豊橋市)	約 35.5 ha	<ul style="list-style-type: none"> 豊橋市 ふたがわしゆく 「二川宿」まちづくり会 おおいわちようひがし 大岩町東まちづくり会 おおいわなか 大岩中まちづくり会 ふたがわしゆく NPO法人 二川宿 ふたがわ おおいわ 二川・大岩まちづくり協議会 いわけ 岩屋緑地に親しむ会 ふたがわ 二川リンケージ ふたがわ 二川つるし飾りの会 国立大学法人 豊橋技術科学大学
がいの おおかいどうしゅうへん ロープウェー街・大街道周辺地区 (愛媛県松山市)	約 5.6 ha	<ul style="list-style-type: none"> 松山ロープウェー商店街振興組合 松山ロープウェー中央商店街振興組合 おおかいどう 松山大街道商店街振興組合 森ビル株式会社 国土交通省松山河川国道事務所 松山市

「優秀賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

地区名	地区面積	応募者
け ごこうえんしゅうへん 警固公園周辺地区 (福岡県福岡市)	約 1.1 ha	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市 福岡大学工学部景観まちづくり研究室 アーバンデザインコンサルタント けご 警固公園対策会議

「特別賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

地区名	地区面積	応募者
しんへびた 新蛇田地区 (宮城県石巻市)	約 46.5 ha	<ul style="list-style-type: none"> 石巻市

「景観まちづくり活動・教育部門」受賞活動一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

応募件数：23件

活動名	活動エリア	応募者
みなみまち 南町2850プロジェクト～喜多方市 おたづき 小田付地区 空き家・空き地の再生～	福島県喜多方市 小田付地区	<ul style="list-style-type: none"> ・あいづきたかたおたづきごうまちしゅうかい ・会津喜多方小田付郷町衆会 ・福島県立喜多方桐桜高等学校 ・株式会社 ワークヴィジョンズ ・福島県建築士会 喜多方支部 ・株式会社 光進都市コンサルタント ・福島県喜多方建設事務所 ・喜多方市 ・公益財団法人 福島県区画整理協会
景観まちづくり 街のみなでおもてなし 「福江*つるし飾りロード」	愛知県田原市 福江地区	<ul style="list-style-type: none"> ・きよた ふくえ ・清田・福江校区まちづくり推進協議会
にしてつやながわ 西鉄柳川駅周辺に於ける市民・事業者・ 行政・専門家による景観まちづくりの 取り組み	福岡県柳川市 西鉄柳川駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ・柳川市 ・西日本鉄道株式会社 ・西鉄柳川駅周辺地区デザイン検討会議 ・柳川市立藤吉小学校 育友会 父親委員会

「優秀賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

活動名	活動エリア	応募者
高校生と共に進めるイザベラ・バードの 古道復元活動	山形県川西町 小松地区	<ul style="list-style-type: none"> ・すわとうげこどう ・諏訪峠古道保存会
まちづくり総合学習	福島県いわき市 久之浜・大久地区	<ul style="list-style-type: none"> ・いわき市立久之浜第一小学校 ・ひさのはまおひさ ・久之浜大久地区まちづくりサポートチーム
くりやま 栗山みどりの保全事業(たろやまの郷)	千葉県四街道市 たろやまの郷	<ul style="list-style-type: none"> ・四街道市 ・くりやま ・栗山みどりの保全事業実行委員会
ふじさわこどもまちづくり会議	神奈川県藤沢市 藤沢市内全区	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじさわこどもまちづくり会議実行委員会
ふところじま 懐島プロジェクト —歴史・地形・生活から読み解く—	神奈川県茅ヶ崎市 懐島エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎
なかせんどうなかつがわじゆく 中山道中津川宿の景観まちづくり	岐阜県中津川市 中山道中津川宿	<ul style="list-style-type: none"> ・ほんまちなかせんどう ・本町中山道景観協議会+中津川市+ ・名古屋工業大学景観研究会 ・中津川市 ・名古屋工業大学景観研究会

都市景観大賞 九州における過去の受賞履歴

「美しいまちなみ賞」

年度	表彰内容	地区名	応募者
平成13年度	大賞	日田市豆田地区	・豆田地区町並み保存推進協議会 ・日田市
	優秀賞	久留米市小森野浪打地区	・浪打自治会緑地協定運営委員会 ・久留米市
平成14年度	優秀賞	不知火町松合地区	・松合の町並み保存会 ・熊本県不知火町
平成15年度	大賞	島原武家屋敷地区	・下の丁町内会 ・島原市
	優秀賞	竹田地区	・NPO法人竹田まちなみ会 ・竹田市
平成16年度	優秀賞	りぼんシティオ那珂川地区	・美野島校区まちづくり協議会 ・福岡市
	特別賞	ガーデンヴィレッジ平尾台地区	・ガーデンヴィレッジ平尾台管理組合 ・北九州市 ・みくに産業株式会社
平成18年度	大賞	雲仙市神代小路地区	・神代小路まちなみ保存会 ・神代小路区 ・雲仙市 ・神代鍋島塾
	優秀賞	福岡市アイランドシティ照葉のまち地区	・照葉まちづくり協会(TCA) ・福岡市 ・福岡市住宅供給公社 ・博多港開発株式会社 ・アイランドシティ住宅開発企業連合体
平成19年度	大賞	北九州市紫川マイタウン・マイリバー整備地区	・紫川マイタウンの会 ・北九州市
	大賞	山鹿市豊前街道山鹿温泉界限地区	・熊本県建築士会山鹿支部まちづくり 景観研究部会 ・山鹿市

年度	表彰内容	地区名	応募者
平成20年度	大賞	南小国町黒川温泉地区	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川温泉自治会 ・南小国町 ・黒川温泉観光協会 ・黒川温泉観光旅館協同組合
	優秀賞	八女市八女福島地区	<ul style="list-style-type: none"> ・八女福島伝統的町並み協定運営委員会 ・八女市 ・特定非営利活動法人八女町並みデザイン研究会
平成21年度	優秀賞	出水市出水麓地区	<ul style="list-style-type: none"> ・出水麓街なみ保存会 ・出水市

「都市空間部門」

年度	表彰内容	地区名	応募者
平成24年度	優秀賞	博多駅・はかた駅前通り地区	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市 ・九州旅客鉄道株式会社 ・博多まちづくり推進協議会
	優秀賞	鉄輪温泉地区	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人鉄輪温泉共栄会 ・別府市
平成25年度	大賞	熊本駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本県 ・熊本市 ・熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議
	特別賞	肥前浜宿地区	<ul style="list-style-type: none"> ・肥前浜宿まちづくり協議会 ・特定非営利活動法人 肥前浜宿水とまちなみの会 ・鹿島市
	特別賞	鹿児島市地区 市電軌道敷緑化整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島市
平成26年度	大賞	日向駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ・日向市 ・宮崎県 ・九州旅客鉄道株式会社

「景観教育・普及啓発部門」

年度	表彰内容	活動名	応募者
平成23年度	大賞	日向市駅周辺のまちづくりを題材としたまちづくり課外授業	・宮崎県県土整備部 ・日向市
	優秀賞	中学生のための景観教室	・社団法人 宮崎県建築士会 ・宮崎市
平成25年度	大賞	関門地区（北九州市・下関市）景観ウォッチング&セミナー	・公益社団法人 福岡県建築士会北九州地域会 ・山口県建築士会下関支部 ・関門景観協議会（下関市・北九州市）
平成26年度	優秀賞	郊外型団地における地域主体の「住宅景観」づくり（啓発と維持）	・青葉台ぼんえるふ団地管理組合法人
平成27年度	大賞	地域の誇り&まちなみ育てプロジェクト ～姪浜の宝を福岡市民の宝に！～	・唐津街道姪浜まちづくり協議会

平成 28 年度 都市景観大賞について

平成 28 年度からは、下記の通り、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。昨年度、景観法 10 周年記念として実施した「景観づくり活動部門」と従来の「景観教育・普及啓発部門」を統合し、本年度から、新たに「景観まちづくり活動・教育部門」として募集しました。

I. 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） ……原則 1～2 地区
- ② 優秀賞 ……数地区
- ③ 特別賞 ……内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

委員長	陣内 秀信	法政大学教授
委員	池邊このみ	千葉大学教授
	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	岸井 隆幸	日本大学教授
	佐々木 葉	早稲田大学教授
	高見 公雄	法政大学教授
	田中 一雄	㈱GK インダストリアルデザイン代表取締役
	富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長
	国土交通省	都市局市街地整備課長
	国土交通省	住宅局市街地建築課長

(順不同、敬称略、平成 28 年 5 月現在)

II. 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） ……原則 1～2 活動
- ② 優秀賞 ……数活動
- ③ 特別賞 ……内容に応じ、適宜選定

3. 募集対象

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を 3 年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。

6. 審査委員

委員長	小澤紀美子	東京学芸大学名誉教授
委員	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	大道 博敏	江東区立越中島小学校主幹教諭
	福井 恒明	法政大学教授
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、平成 28 年 5 月現在)